

(四国地方整備局からのメッセージ)

◆◆◆四国地方整備局トピック 2017. 8. 10◆◆◆

【 四国地方整備局次長兼総務部長 永井 智哉 】

7月7日付で次長兼総務部長、四国圏広域地方計画推進室長を拝命いたしました永井と申します。どうぞよろしくお願ひします。

四国へ行くことが分かりますと、東京勤務の多くの四国関係者の方から「うらやましい」、「いいね」という声をいただきました。赴任して、すぐその意味が分かりました。いたるところ風光明媚で、多くのお祭りや祝い事といった伝統が息づき、海の幸山の幸が豊富で、お遍路に代表される他に例を見ない文化があり、そして何よりもお人柄、こうした四国で勤務できることを幸せに感じております。

さて、7年ほど、国土交通省を離れ、各府省を束ねる内閣府、内閣官房に勤務しておりました。各府省とも、その役割をしっかりと果たされているわけですが、ひときわ国交省に頼りがいを感じました。特に、現場力の卓越さは、国交省を離れてみて再確認できたことでした。その現場力の最前線である、地方整備局で、四国の発展に少しでも貢献出来たらと考えております。

ところで、国交省を離れていた期間、内閣府防災勤務時代に、東日本大震災を経験しました。また、前職の内閣官房国土強靱化推進室では、東日本大震災等を踏まえ、いかなる災害が来ても、安心・安全な国づくり・地域づくりの仕事をして参りました。そうした経験の中で、南海トラフ地震という最大級の自然災害へどう対応するか大きなテーマでした。また、ちょうど赴任直前から、九州北部豪雨が発生し、四国地方整備局からもTEC-FORCEが派遣され、災害支援活動を行いました。我々に数知れない恩恵を与えてくれる自然ではありますが、怖さという一面も持つこと、危機管理の重要性を改めて認識しております。

10数年前に、瀬戸内海を挟んだ中国地方整備局におりました。ちょうど、広域地方計画の策定にとりかかる時期で、中国・四国の連携論も議論しておりました。現在、大変素晴らしい四国広域地方計画を策定頂いておりますが、さらなる展開として、中国圏域とも連携したプロジェクトの検討が進められています。四国の持つ素晴らしい資源を、他圏域との連携も視野に、関係機関とも一緒になって、国内、世界に向けて発信することが出来れば、無上の喜びです。

素晴らしい四国ご縁をいただきました。微力ではありますが、皆様とともに、四国の発展に尽力していきたいと思ひますので、ご指導、ご支援の程よろしくお願ひいたします。

平成28年度全建賞を受賞しました
四国地方整備局 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)

【企画部 防災課】

緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）は、平成20年4月の発足以来、平成28年度までに東日本大震災をはじめ69の災害に対して、のべ約5万人/日以上 の隊員が被災地に赴き、被災状況の迅速な把握、被害の拡大や二次災害の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を実施しています。

四国地方整備局をはじめ他の整備局等から長期にわたって派遣した「平成28年台風7号及び平成28年8月20日から の大雨に伴う緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の活動」、「平成28年度熊本地震におけるTEC-FORCEの自治体・住民支援活動」が一般社団法人全日本建設技術協会の平成28年度全建賞（特定のインフラ整備に係わらない公共事業全般に関する取組み）を受賞しました。

「平成28年度全建賞表彰式」は平成29年6月27日（火）にアルカディア市ヶ谷で開催され、四国地方整備局からは熊本地震先遣隊隊長を務めた植松総括防災調整官が代表して、表彰状の授与を受けました。

全国一斉社会実験 水辺関心創造アクション
「水辺で乾杯2017」を実施しました

【河川部】

国土交通省では「ミズベリング・プロジェクト」の一環として、かつての賑わいを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を創造していくため、水辺に対する社会の関心を高め、様々な立場からの参画を得るための取り組みを推進しています。

今年で3回目を迎えた7月7日午後7時7分（タナバタイム）に、「水辺で乾杯（MIZCAN）」を実施しました。

このイベントは、水辺に人が集い、水と親しみ、日常の風景を少し変えてみることで新しい水辺の活用の可能性を考えていくため、全国各地で一斉社会実験として、
○水辺の楽しさ、美しさ、優雅さ、風流さ、静けさなどを改めて感じ取ってもらおう。
○水辺でなにが出来るのか、何が出来そうなのか、具体的なイメージを感じ取ってもらおう。
○今ひとつ躊躇しがちな水辺の活性化に、具体的なアクションを加えよう。
と言う趣旨で企画されています。

四国内においても各地でイベントが行われ、高松市サンポートでは、参加者が持ち寄ったスラックラインと呼ばれる幅5cm、長さ20m程度のテンションを張ったラインの上でバランス感覚や集中力などを競い合い、参加者や周辺を散策していた観光客などの目を引くなど、水辺で行うスポーツに汗をにじませながら乾杯しました。このほか桑野川（徳島県）では、阿南市の60歳以上の女性でつくるチアリーディングチーム「ABO60」を中心としたフラダンスを参加者全員で踊るなど、これまでとは違った楽しみが広まりつつあります。今回水辺に集まった方は、8箇所300人を超える参加者となりました。今後も、水辺に対する社会の関心を高めるため、様々なイベントに積極的に取り組んでいく予定です。

※同日行われた全国各地の乾杯や過去の乾杯については、こちらのウェブページをご覧ください。

<https://mizbedekanpai.mizbering.jp/kanpai/>

「海の日」海事功労者等表彰式を行いました

【港湾空港部 港政課】

平成29年7月18日（火）に、『平成29年「海の日」海事功労者等の表彰式』が高松市内のホテルにおいて執り行われました（主催：四国運輸局・四国地方整備局・高松海上保安部）。

当日は表彰される方を始め、多数の関係者の皆様にご臨席を賜り盛大に挙行されました。四国地方整備局からは17の個人及び団体の方々に表彰状の授与を行いました。

表彰された個人・団体など詳しくはこちらをご覧ください

<http://www.skr.mlit.go.jp/pres/h29backnum/kouwan/170714/170714-1.pdf>

「平成29年度 四国地方整備局管内技術・業務研究発表会」を開催しました

【企画部 企画課】

7月19日、20日の2日間、「平成29年度 四国地方整備局管内技術・業務研究発表会」を高松サンポート合同庁舎にて開催しました。

発表会では、2日間で延べ約650名を超える聴講のもと、イノベーション部門、アカウントビリティ部門、一般部門の3部門57題の発表が行われました。

発表後には、論文審査委員長の野崎企画部長から優秀論文賞受賞者へ表彰状が授与され、2日間の発表会を締めくくりました。

2日目の午後には「技術開発・新技術発表会」が開催され、愛媛大学大学院の全（チョン）助教授から「画像解析、機械学習による橋梁損傷検出・評価手法の開発」、香川高等専門学校の高橋助教からは「手づくりで多様な水生生物の移動環境を構築する技術の開発」の発表があり、また、四国地方整備局企画部 市原施工企画課長から「i-Constructionの推進について」の説明がありました。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/kenkyu/>

国土交通行政関係功労者表彰式を行いました

【総務部 人事課】

7月21日（金）サンポート合同庁舎において、国土交通行政関係功労者表彰式を

執り行いました。

式典は13時30分より行われ、最初に平井局長から、災害、河川、道路関係の功
労者に対し感謝状が贈呈されました。

続いて、樋門・排水機場管理功労者、優良工事、優秀貢献工事、優秀建設技術者
(工事)、優良業務、優秀建設技術者(業務)の方々に対して表彰状が授与されまし
た。

その後、平井局長から各部門の受賞者の功績に敬意を表するとともに、引き続き国
土交通行政の推進に関してご支援、ご協力を求める挨拶がありました。

また、受賞者を代表して川西地区地域づくり推進協議会 代表 岩崎正朔様より表彰
に対するお礼の挨拶があり、表彰式は滞りなく終了しました。

表彰された個人・団体など詳しくはこちらをご覧ください

<http://www.skr.mlit.go.jp/pres/h29backnum/soumu/170721/170721-1.pdf>

8月は「道路ふれあい月間」です。
8月10日は「道の日」です。

【道路部 路政課・道路管理課】

《 この道で おはよう さよなら ありがとう 》

平成29年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品
一般の部(最優秀賞)【H29代表標語】
大澤 佳子 さん (千葉県)

国土交通省では、「道路ふれあい月間」(8月)の行事の一環として、改めて道路
の役割・重要性について考えていただくことを目的に、広く一般から本月間における
取組を推進する標語を募集しています。

平成29年度は全国から6,841作品の応募があり、本作品が代表標語に選定さ
れました。

●「道路ふれあい月間」について

「道路ふれあい月間(平成13年度より「道路をまもる月間」から名称変更)」は、
8月1日から8月31日までの1箇月間、道路を利用している国民の方々に改めて道
路とふれあい、道路の役割及び重要性を再認識していただき、さらには道路をいつく
しむという道路愛護活動の推進及び道路の正しい利用の啓発を図り、道路を常に広く、
美しく、安全に利用する気運を高めることを目的として、国土交通省が中心になり、
昭和33年より毎年実施されています。

道路管理者は、当月間において、より多くの方々が道路の役割及び重要性を十分理
解し、自主的かつ積極的に各種運動に参画していただけるよう努めることとしていま
す。

●「道の日」について

道路は、国民経済を支え、国民生活を維持するために欠くことのできない基本的な
社会資本施設ですが、あまりにも身近な存在であるため、その重要性が見過ごされが
ちです。そこで、道路の意義・重要性について、国民の皆様に関心をもつていただく
ことを目的として、昭和61年に8月10日を「道の日」に選定しました。

8月10日を選定した理由は、大正9年8月10日に、我が国で最初の道路整備に

ついでに長期計画である第1次道路改良計画が実施されたことと、8月1日～31日が「道路をまもる月間（現在の「道路ふれあい月間）」の期間中であったこと、などによります。

夏休みは国営讃岐まんのう公園の「サマーフェスタ」へぜひお越しください

【香川河川国道事務所 公園課】

国営讃岐まんのう公園は、日本最大級の農業用ため池“満濃池”を望む自然豊かな公園です。一年を通じて四季折々の花や草木が鑑賞できるほか、工作体験や里山体験、イルミネーションなど多くのイベントを行っております。また、ふわふわドームやエックスライダー（長いすべり台）などの遊具や水遊びができることも向けの施設に加え、ログハウス風のキャビンなど様々な設備が充実しているオートキャンプ場があり、老若男女みなさまが楽しめる公園となっております。

当公園では夏休み期間の8月31日（木）まで「サマーフェスタ」を開催します。期間中は、カブトムシ・クワガタが観察できる「カブト虫ランドwithクワガタ」や、貝殻やタイルを張りオリジナルのフォトフレームを作る夏休み限定の工作教室をオープンします。また、暑い夏にはうれしい「ドラ夢の泉広場」での水遊びなど、夏ならではのまんのう公園を満喫することができます。

花畑では、10品種7万本のヒマワリが7月下旬～8月中旬に見頃を迎えます。また、昨年初登場したコキアは、7月下旬～9月上旬に緑のモコモコした形となり、9月下旬～10月中旬には真っ赤な紅葉が楽しめます。

8月11日（金・祝）～13日（日）の3日間は「サマーナイトフェスティバル」を開催します。開園時間を午後8時半まで延長し、「昇竜の滝」のライトアップやイルミネーションで園内を彩るとともに、音と光の演出による打上花火「光と音の花火ショー」を開催し、真夏の夜の公園を楽しむことができます。その他、パフォーマンスショーやクラフト体験なども実施します。

さらに、自然生態園では、昔ながらの遊びを体験することができるほかボランティアと一緒に園内を散策するガイドウォークなど、多くのイベントを行います。みなさま、是非ご来園ください。

サマーフェスタ期間中のイベント情報はこちらをご覧ください。

<http://www.skr.mlit.go.jp/soumu/soumu/oshirase/kouhoushikoku/サマーフェスタ0705.pdf>

四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

四国地方整備局Facebook

<https://www.facebook.com/shikokuchisei/>

自治体担当者様におかれましては、首長ご本人への転送とあわせて、職員の方への周知もお願いいたします。

「いきいき四国通信」に関するご意見、配信中止・配信先変更のご希望等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

国土交通省 四国地方整備局 企画部 「いきいき四国通信」事務局

mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp
